

学校給食だより No.382

2月

2月の給食目標
楽しい給食の時間を工夫しよう



「楽しい給食の時間」のもつ意味のひとつに「友だちと一緒に食べる」楽しさがあります。同じ料理を食べながら「おいしいね」を共感することは、「心の解放」「友だち、仲間としての一体感」につながることでしょ。

また、各家庭におかれましても、「家族そろって食卓を囲む」「おいしいね」を共感することで、大きな温かい愛情や信頼がふくらみ、子ども心の安定につながることでしょ。

みんなで食べる
とおいしいね！
名倉小4年生

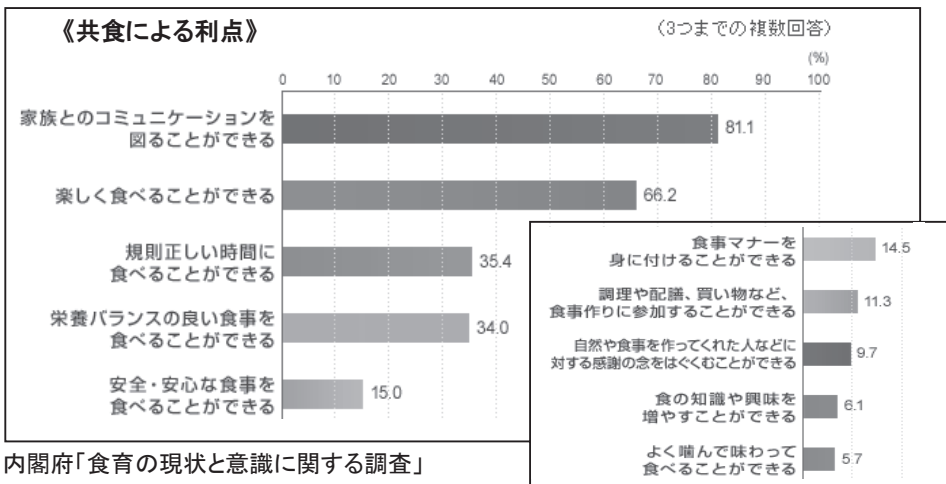


<献立> ビビンバ、
しゅうまいのからあげ、
かきたまじる、牛乳

一緒に楽しい食事を

今は昔と比べて家族それぞれの生活時間がずれて、家族そろっての食事が困難になってきています。内閣府の調査（回答 1,700 人）によりますと、家族と一緒に食べる頻度について「ほとんど食べない」と答えた人の割合は、朝食は 25.5%、夕食も 8.8%と、家族がそろって食卓を囲む機会が少なくなっています。

そして、食事を家族と一緒に食べることは、一人で食べるよりどのような良い点があると思うかという質問には次のような結果が出ています。



食育の大切さ



平成17年7月に「食育基本法」が施行され、教育の3本柱である“知育・徳育・体育”に“食育”が加えられました。食という字は「人」に「良」と書きます。人に良いこと、食を通じて人を良くすることを育むのが“食育”です。

学校における食育では、子どもが食に関する正しい知識を身に付け、自らの食生活を考え、望ましい食習慣を実践することができることを目指しています。学校給食を活用しつつ、給食の時間はもとより各教科や総合的な学習の時間等における食に関する指導を中心として行われています。



授業での取組 社会科「これからの食料生産」 鹿の子台小学校5年生



夕食にはどれを食べようかな？

「これからの食生活」では、自給率の低い日本の食料事情について子どもたちは学習しました。

- ・どんな食べ物が海外からの輸入に頼っているのか。
- ・なぜ、輸入に頼らざるを得なくなったのか。

そして、**輸入ができなくなったら**、どのような食事になるのだろうと、1日の夕食メニューを考えました。『ご飯』とあとの2品を資料から選び、夕食の献立を作るのですが、各班、カレーライスやコロッケなど普段食べているものを取り上げていました。しかし・・・

輸入ができなくなったらこうなるでしょう。



朝食 昼食 夕食

輸入が止まってしまうと1日の食事は左のようなメニューになることを知りました。イモ類が多く、肉がないことや食事量の少なさに子どもたちは驚きました。

そこで、自給率の向上のためにできることは何かを一人一人が考え、話し合いをしました。

- ・ご飯をしっかり食べる。
- ・旬の野菜を食べよう。
- ・食料を作る人にお金の支援をする。
- ・食べ残しをしないようにしましょう。
- ・若い人がもっと農業で働くのがよいと思う。
- ・農地を増やす など。

子どもたちは身近な食の問題に真剣に取り組んでいました。給食や家庭での食事では自分たちのできることは何かを考え、実践していくことと期待しています。